

(3) 骨材

新潟県

記事提供：(一社)新潟県砂利砕石協会

新潟県における令和2年度10月～12月期の骨材需給は、前年度同期と比較して、朝日温海道路関係工事や災害復旧工事等により一部地域で増加したものの、大型物件工事もなく、県計では、出荷量で7%減、生産量で8%減となった。

地区別に前年度同期比で見ると、上越地区では、出荷量で20%減、生産量で14%減、中越地区は、出荷量で3%減、生産量で6%減、下越地区は、出荷量で2%増、生産量で2%減、佐渡地区は、出荷量で20%減、生産量で18%減となった。

12月末の在庫量は、前年度末より1%減、前年同期比も1%減となった。

富山県

記事提供：富山県土石業協同組合連合会

富山県における令和2年度10月～12月期の骨材の需給は、前年同期に比べて、県全体では出荷量が0.5%減、生産量が0.5%減といずれもほぼ横ばいとなったが、前期(令和2年度7～9月期)比では、出荷量は10%増、生産量は9%増となった。

地区別の前年同期比では、東部地区は出荷量が2%の増、生産量は2%の減となった。また、西部地区では、出荷量は3%減、生産量は0.4%増となった。

これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響からの経済回復の兆しが見られた前期に引き続き、公共事業関係を中心に民需も堅調であったことによるものである。

12月末在庫量は、前期末(令和2年9月末)より、県全体で8%減、地区別では東部地区は10%減、西部地区は増減なしとなった。

富山県では骨材のうち特に玉石、野面石は慢性的に不足している。

石川県

記事提供：石川県骨材協同組合連合会

石川県における令和2年度10～12月期の骨材(県内産)の需給状況は、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大による需要の縮小が大きく影響しており、県計全体の出荷量は前年同期と比べて34%の大幅な減少となった。これで7期連続の減少となっている。

10～12月期の地区別出荷量の比較では、加賀地区は特に新幹線需要の終了の影響を大きく受けていることから、前年同期比で34%の減少となった。また能登地区も、県外からの流入材に押されていることに加え、コロナ禍の需要縮小化の影響が重なり、今期は前年同期比で33%の減少となった。

その今期のお荷量の内訳を見ると、加賀地区については、主要生産地である手取川扇状地産の陸砂利と川砂利は、主要な需要先である生コン業者向けの出荷において、大口需要の金沢地区が前期に続いて今期も8%の減少となった。また新幹線需要の終了の影響を大きく受けている南加賀地区は今期も前年同期比で70%の大幅な減少となっている。なおアスファルト合材業者向けの今期のお荷は、このような中、前期に続いて堅調に推移し20%の増加となった。以上を総じて、今期の加賀地区における手取産陸砂利と川砂利の全体的お荷は、前年同期比で34%の減少となった。

また、路盤材を主体とする加賀地区の山砕石も、新幹線需要を含む大型スポット物件向けお荷の終了の影響により今期も前年同期比で35%の減少となった。

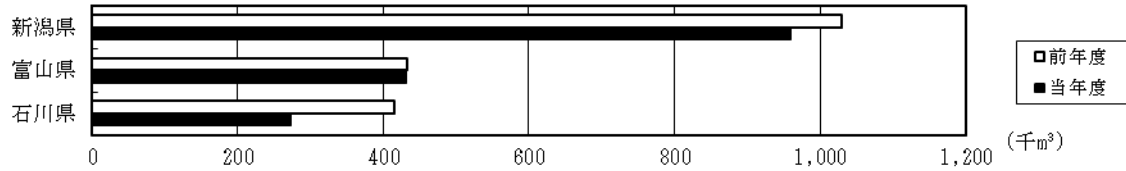
一方、能登地区(山砕石)については、前年同期比で33%の減少となった。この地区は量的にも県外からの流入材に押されて少ない上に、コロナ禍による需要の縮小化が状況を更に深刻化しており、この地区の地場産業者の経営環境は、極めて厳しい状況となっている。

生産量については、加賀・能登地区共に今期も概ねお荷量に合わせた生産体制をとっており、県計では前年同期比で32%の減産となった。

在庫量は、特に加賀地区の在庫が需要の急速な減少により積み上がり傾向にあることから、県計全体の前年同期比では15%の増量となった。

第3四半期(R2.4～12月)の累計では、お荷量は県計で前年度と比べて30%の減少となり、生産量も28%の減産となった。また在庫量は15%の増量となった。

骨材出荷量の推移（10月～12月期）



(単位：千m³、%)

県	地区	区分	令和元年度 年計	令和2年度				累計
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	出荷量	▲6 933	5 224	▲17 243	▲20 235	▲25 702	
		生産量	▲8 898	7 254	▲10 244	▲14 248	▲17 746	
		在庫量	▲22 615	▲16 152	▲4 153	8 166	8 166	
	新中越	出荷量	▲7 1,022	▲2 242	▲4 288	▲3 299	▲19 829	
		生産量	0 1,063	▲1 252	▲15 272	▲6 295	▲23 819	
		在庫量	15 1,272	12 331	▲1 315	▲5 311	▲5 311	
	潟下越	出荷量	▲4 1,265	▲11 279	1 322	2 382	▲22 983	
		生産量	▲6 1,300	▲9 309	▲10 298	▲2 342	▲27 949	
		在庫量	5 3,118	5 816	1 793	▲2 753	▲2 753	
	県佐渡	出荷量	▲29 186	▲32 32	0 42	▲20 44	▲37 118	
		生産量	▲26 190	▲33 32	▲5 41	▲18 45	▲38 118	
		在庫量	9 145	6 37	3 37	6 38	6 38	
	県計	出荷量	▲7 3,406	▲5 777	▲6 895	▲7 960	▲23 2,632	
		生産量	▲6 3,451	▲4 847	▲11 855	▲8 930	▲24 2,632	
		在庫量	4 5,150	4 1,336	0 1,298	▲1 1,268	▲1 1,268	
富山県	東部	出荷量	▲13 652	17 162	2 177	2 191	▲19 530	
		生産量	▲12 631	25 169	15 176	▲2 183	▲16 528	
		在庫量	▲35 353	▲12 91	10 90	▲1 81	▲1 81	
	山西部	出荷量	▲1 843	5 195	▲1 215	▲3 240	▲23 650	
		生産量	▲1 851	▲3 181	▲5 212	0 240	▲26 633	
		在庫量	▲9 189	▲40 28	▲52 26	▲45 26	▲45 26	
	県計	出荷量	▲6 1,494	10 357	1 392	0 431	▲21 1,180	
		生産量	▲6 1,482	9 350	3 388	0 423	▲22 1,161	
		在庫量	▲28 542	▲21 119	▲15 116	▲17 107	▲17 107	
石川県	加賀	出荷量	▲16 1,460	▲24 298	▲31 258	▲34 264	▲44 820	
		生産量	▲16 1,455	▲23 306	▲27 265	▲32 270	▲42 841	
		在庫量	▲3 575	▲5 147	6 154	17 160	17 160	
	川能登	出荷量	26 34	▲62 3	▲87 1	▲33 8	▲65 12	
		生産量	18 33	▲43 4	▲78 2	▲55 5	▲67 11	
		在庫量	▲9 41	10 11	9 12	▲10 9	▲10 9	
	県計	出荷量	▲15 1,494	▲24 301	▲32 259	▲34 272	▲44 832	
		生産量	▲16 1,488	▲24 310	▲28 267	▲32 275	▲43 852	
		在庫量	▲4 616	▲4 158	6 166	15 169	15 169	

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員109社のうち109社

富山県

会員86社のうち86社

非会員 1社のうち 1社

石川県

会員21社のうち21社 (委卸加工業者含む)

非会員16社のうち9社

(本データは、陸砂利・川砂利及び山砕石の数量である。)